



## 人手不足問題への対応、どうしますか？

### ◆人材不足を実感している企業が9割

企業の「人手不足」の問題については、しばしば新聞やテレビでも報道されるところですが、自社の状況はいかがでしょうか？

エン・ジャパン株式会社が実施した2019年の「人材不足の状況」についてのアンケート調査（762社から回答）によると、「**人材が不足している部門がある**」と回答した企業が9割という結果だったそうです。これは、2016年の調査に比べ、5ポイント上昇した数字となっており、3年前よりも人材不足感が増していることが伺えます。

### ◆人手不足への対応策は？

では、人手不足を実感している会社では、どのような対策を講じているのでしょうか。

同調査では、人材不足の状況への対応策についても聞いており、86%が「**新規人材の採用（欠員の補充）**」と答えています。次いで「**既存の業務を効率化する（ICT化、標準化等）**」（35%）、**既存社員の教育、能力向上**（30%）、**社員のモチベーション向上のため、処遇見直し**（18%）と続いています。

調査結果でも、「新規人材の採用」を解決策として挙げた会社が多かったようですが、最近では、「**高齢者雇用**」「**外国人雇用**」「**仕事を離れてからブランクのある女性の雇用**」など、これまで採用市場に多くなかった人材の積極採用に目を向ける企業も増えているようです。

### ◆「新規人材の採用」以外の解決策も

また、今後避けられないであろう人口減少、労働力人口減少の流れの中では、「今いる人材が離職しないこと」「業務の効率化」は、どうしても検討しなければならないテーマとなっています。

社員の納得感を増すために処遇制度を見直したり、職場環境を改善するため社内コミュニケーションを活性化させたりするなど、すでに人材確保のための積極的な取組みを始めている企業も少なくありません。

### ◆人材確保のために今から対策を

人手不足の問題は、今後企業ごとに工夫を凝らして解決していかなければならないテーマとなっています。人材獲得競争の波に乗り遅れないように、検討していく必要があるでしょう。



早めの啓蒙・意識付けが大切！  
「きちんと受けよう、健康診断！」

### ◆健康診断の重要性

新年度を迎える春に、定期健康診断を実施する企業も多いでしょう。健康診断は、健康状態を調べるとともに、疾病の有無や、その兆候を見つけるためのものです。疾病の予防と早期発見・早期治療のためにも、健康診断は欠かすことのできないものです。

健康診断を実施することは事業者の義務であり、受診することは労働者の義務ですが、労働者に対しては法律上の罰則はないため、業務多忙等を理由に健康診断を拒否する労働者もいます。

そこで、受診拒否を回避するための工夫が必要となります。受診拒否を懲戒処分の対象とすることなども効果的ですが、何より大切なことは、健康管理の重要性と、そのための健康診断受診の重要性を啓蒙し、受診への意識付けを行っていくことです。この取組みは、早期に始めたいものです。

### ◆誤解の多いポイント～治療中の方も健診受診は必要

疾病の治療等で通院したりしている方の中には、「普段から病院で診察を受けているから、健康診断は受けなくてもよいだろう」と考えて健康診断を受けない方もいます。しかし、このような場合も、健診受診は必要です。

また、通常の診療では、治療中の疾病に関わる検査以外は行われません。それ以外の部位の異常を早期発見するために、全身を定期的にチェックすることは、健康管理にとって重要なことです。負担軽減の観点から、医療機関で治療中の労働者については、健康診断にあたり、エックス線写真など主治医においてすでに取得されているデータを取得・活用して診断することが認められるようになりましたので（平成29年8月3日基発0804第4号）、この点も伝えるとよいでしょう。

### ☑健康保険料率・介護保険料率の改定～3月分より

今年も健康保険料率・介護保険料率の改定があります。都道府県ごとに料率が異なります。協会けんぽからお知らせが届いています。給与計算時には、お気を付けください。

☑平成31年度の雇用保険料率は平成30年度と同率維持となりましたので変更ありません。

### 編集後記

3月です。卒業式、人事異動、引っ越し等、私達の暮らしに関わる出来事が沢山ある月ですね。そして下旬には春彼岸が控えています。お彼岸と言えばご先祖様の供養、お墓参りにお出かけになる方が多いと思いますが、何故お彼岸にお墓参りをするのか—彼岸の始まりは平安時代、日本独自の仏教行事と言われていました。昼と夜の長さが同じになる彼岸の中日は太陽が真東から昇り、真西に沈みます。そして古くから西の遙か彼方には極楽浄土があると信じられており、真西に沈む太陽を拜んで極楽浄土に思いを馳せたのが彼岸の始まりと言われていました。それがいつしか先祖を供養する行事となったということです。ところで、お彼岸にお供えるあの食べ物、同じ物なのに春はぼたもち、秋はおはぎと名前が違います。ぼたもちは牡丹、おはぎは萩、季節の花の名前が由来のようです。日本的な、何とも趣があるネーミングですね。

## Harmony通信 2019.03

#発行：2019年3月10日

#編集・構成：合同会社Melody



Harmony 司法書士行政書士事務所  
Harmony 社会保険労務士事務所  
合同会社Harmony

住所：〒980-0011 仙台市青葉区上杉2-3-38 クラッセ上杉ビル4F

TEL: 022-796-9231 FAX: 022-796-9232

URL : <http://www.harmony-office.com/>

mail : [info@harmony-office.com](mailto:info@harmony-office.com)

修日記 : <http://blog.goo.ne.jp/kadota-osamu/>

陽子日記 : <http://blog.goo.ne.jp/kadota-yoko/>

